

「主をほめよ高らかに」

(歴代誌 I 29:11)

主をほめたたえよ 高らかに

主イエスを

主をほめたたえよ とこしえに

主イエスの名を

主の愛 いつまでも変わらず

全地(ぜんち)を喜びで満たす

主をほめたたえよ 高らかに

184 主の前にひざまずき

主の前に ひざまずき

心から 賛美ささげる

あなたは とこしえに 私の神

新聖歌172番 「望みも消え行くまでに」

1 望みも消え行くまでに 世(よ)の嵐に悩むとき
数えてみよ主の恵み 汝(な)が心は安きを得(え)ん

* 数えよ主の恵み 数えよ主の恵み
数えよひとつずつ 数えてみよ主の恵み

2 主のたまいし十字架を にないきれず沈(しず)むとき
数えてみよ主の恵み つぶやきなど いかであらん

* (くりかえし)

3 世の楽しみ 富(とみ) 知識 汝(な)が心をさそうとき
数えてみよ主の恵み あまつ国の幸(さち)に酔わん

* (くりかえし) アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌385番 「主よ終わるまで」

- 1 主よ終わるまで 仕えまつらん
みそば離れず おらせたまえ
世(よ)のたたかいは はげしくとも
みはたのもとに おらせたまえ
- 2 浮世(うきよ)の栄え 目をまどわし
いざないの声 耳に満ちて
試(こころ)むる者 内外(うちと)にあり
主よわが盾(たて)と ならせたまえ

【次】

新聖歌385番 「主よ終わるまで」

- 3 静かに聖(きよ)き み声をもて
めいりの嵐 静めたまえ
心にさわぐ 波(なみ)はなぎて
わが主のみむね さやに写(うつ)さん
- 4 主よ今ここに 誓(ちか)いをたて
しもべとなりて 仕えまつる
世(よ)にあるかぎり この心を
常にかかわらず 持たせたまえ

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあげさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン